



# 北中だより

学校教育目標「自ら考え なかまと磨き合う 北中」

菊池北中学校  
学校だより  
No11  
文責 芹川博文  
6月20日(木)

## 多くの方の思いを受けて、今までの全てをこの一瞬に発揮する

～ いよいよ郡市中体連、コンクール。各部キャプテンのひと言 ～

- 野球部 小田 瞬 「今までやってきたこと全てを試合に出す」
- バレーボール部 高山 大輝 「チーム競技なので自分が目立つプレーではなく、チームのためになるプレーをして一試合でも多く勝ちたい」
- バドミントン部 野満 景南 「三年間を通してやってきたことを発揮して一試合でも多く勝つ」
- テニス部 川口 劉樹 「今まで練習してきた全てを發揮して九州大会を目指して自分の限界を超えられるように全力で頑張る」
- 剣道部 陶山 太誠 「一心一体、心も体も一つにして頑張る」
- 吹奏楽部 元村 結愛 「去年の自分たちを超える演奏をする」
- 水泳部 陶山 僚太郎 「今までの全ての自分に勝つ」
- 弓道部 小田 陽愛 「悔いのないように一本一本集中」
- 陸上部 牧野 洋一 「記録と戦い、礼儀正しく、すごい北中と思われるように頑張る」

いよいよ中体連。生徒たちは、それぞれの思いをもって本番を迎えることと思います。そしてその思いは、保護者の皆様にとっても重なることでしょう。選手推戴式では、「この中体連に出ることが当たり前ではない」ことを生徒たちに伝えました。自身の健康、これまで送迎や応援、弁当づくりなどで支えてくださった保護者の方、教えてくれた先輩たち、支えてくれた友達や後輩……。多くの方の思いをエネルギーにして当日を迎えてほしいと願います。

特に3年生にとっては最後の大舞台となります。これまでの努力と感謝の思いを胸に臨む北中生徒一人一人のプレーに、大きなエールを送ります。がんばれ！北中！

**私にとっての中体連**40年以上たった今でも、中3の時の中体連の「瞬間」を覚えています。柔道部だった私は、個人戦に出るために減量をして臨みました。しかし、うまく体調管理できず、当日はフラフラ状態。一回戦敗退でした。押さえ込まれた30秒間に感じた自分に対する悔しさと終了の合図、あの「瞬間」は今でも鮮明に思い出されます。そして、高校でも続ける思いにもつながりました。



各部の思いを掲示



選手推戴式の様子

## 「いつも北中を応援しています」

～ 児童・民生委員の皆様が学校を訪問 ～

「私たちは、いつも北中を応援しています。」  
6月19日(水)、児童・民生委員の皆様18名の方にお越しいただき、沢山のありがたい言葉をいただきました。「この校舎になって初めて来ました」「遠くからでも中学生が挨拶してくれて嬉しいです」という言葉と共に、「本当に子どもの姿を見ることが少なくなりました」という言葉も複数の方からいただきました。生徒たちが、この地域の「宝」であることを再認識すると共に、地域の方の温かさや熱い思い、そして、学校としての責任の大きさを感じた時となりました。



授業の様子を参観



生徒との給食の様子

## くまもと環境賞を受賞

～ 菊の栽培を通じた活動に対して～

6月17日(月)、県庁にて第33回くまもと環境賞の表彰式があり、本校は地域貢献賞をいただきました。

全校生徒一人一鉢の菊栽培、「菊まつり」への出展、菊まつり終了後は地域の高齢者宅を訪問しての清掃活動及び菊の鉢の贈呈という1年を通じた活動を、長年続けてきた取組に対していただいたものです。

小国杉でできた素敵な賞状。香り漂うこの賞状は、木造校舎によく似合います。生徒たちにお披露目し職員玄関に飾ります。

